

## 企業局契約後V E方式実施要領

令和4年1月4日  
企業局工務管理課

### (趣旨)

第1条 この要領は、建設業者から工事材料、施工方法等に関する提案を募集し、民間の技術開発を積極的に活用することにより建設工事のコストの縮減を図るため、契約締結後に設計図書の変更に関する提案（以下「V E提案」という。）を受け付ける契約後V E方式に関して必要な事項を定めるものとする。

### (対象工事)

第2条 条件付一般競争入札の対象となる工事であって、民間の技術開発の著しい工事又は施工方法等に関して固有の技術を有する工事で、主として施工段階における現場に即したコスト縮減が可能となる提案が期待できるもののうち、発注者が必要と認めた工事とする。ただし、代行工事及び受託工事については、委託者の了解が得られたものに限る。

2 前項の工事については、入札公告及び特記仕様書等に次の事項を定めるものとする。

#### (1) 入札公告

- ア 契約後V Eの対象工事であること。
- イ 詳細を特記仕様書で明記していること。

#### (2) 特記仕様書

- ア 契約後V Eの対象工事であること。
- イ 第2条及び第3条に関すること。

### (提案を求める範囲)

第3条 V E提案を求める範囲は、工事請負契約約款（平成8年3月29日局長決裁。以下「約款」という。）及び設計図書に定める内容のうち、工事材料、施工方法等に係る変更により請負代金額の低減を伴うもので、かつ、工事の目的物の機能、性能等を低減させないものとする。ただし、次に掲げる提案は、原則としてV E提案を求める範囲に含まないものとする。

- (1) 施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案
- (2) 約款第18条に規定する条件変更等に該当する事実との関係が認められる提案
- (3) V E提案の実施に当たり、関係機関協議等、第三者との調整等を要する提案
- (4) 直接工事費と間接工事費等の積上げ分との合計額（設計金額ベース）で縮減額が30万円未満の提案
- (5) 宮崎県新技術活用促進システム等に登録されている新技術・新工法の提案（自社又は他社と共同で開発したものを除く。）
- (6) 2次製品等の変更のみの提案
- (7) 関係法令、関係技術基準、指針等に基づいて設計図書に定められているものに反する提案

### (提案の提出及びその受付期間等)

第4条 受注者は、V E提案をする場合は、V E提案書（別記様式第1号～第4号）を発注者に提出するものとする。

2 発注者は、提出されたV E提案書に関する追加的な資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができるものとする。

- 3 VE提案の提出を受け付ける期間は、契約締結後からVE提案の審査に必要な日数を考慮し、工程等に支障のない時期までとし、発注者と受注者が協議の上定める。
- 4 提案の回数は、原則として1回とするが、工事の実状に照らし適宜追加することができるものとする。
- 5 VE提案の提出日以降においては、当該VE提案の内容に関する差し替え及び再提出は認めない。ただし、発注者が要求した場合はこの限りではないものとする。

(提案の審査・採否等)

- 第5条 企業局長は、VE提案の審査について検討を行い第3条に規定するVE提案を求める範囲に該当すると確認できた場合は、事業主管課長を経て企業局条件付一般競争入札方式実施要領（平成19年4月1日定め）第9第2項に規定する技術審査会に諮るものとする。
- 2 VE提案の検討に当たっては、必要に応じて学識経験者等の意見を聴取するものとし、その意見を併せて技術審査会に諮るものとする。
  - 3 技術審査会は、VE提案の採否を審査し、その結果を事業主管課長に通知するものとする。
  - 4 技術審査会によるVE提案の審査に当たっては、別に定める運用基準に基づき、施工の確実性、安全性、既設計と比較した経済性等を評価するものとする。

(提案の採否の通知)

- 第6条 VE提案の採否については、原則として、VE提案の受領後14日以内（宮崎県の休日を定める条例（平成元年宮崎県条例第22号）第2条に規定する県の休日を除く）にVE提案採否通知書（別記様式第5号）により通知するものとする。ただし、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができるものとする。
- 2 VE提案を採用しなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。

(VE提案を採用した場合の設計変更等)

- 第7条 VE提案を採用した場合には、発注者は設計図書の変更を行わなければならない。
- 2 前項の規定により設計図書の変更が行われた場合において発注者は、請負代金額を変更しなければならない。
  - 3 前項の請負代金額の変更に当たっては、VE提案により請負代金額が低減すると見込まれる額（以下「工事縮減額」という。）の2分の1に相当する金額をVE管理費として設計書に計上する。
  - 4 VE提案が適正と認められた後、約款第18条に規定する条件変更が生じた場合において、発注者がVE提案に対する変更を求めたときは、受注者はこれに応じるものとする。
  - 5 第2項の規定により請負代金額の変更が行われた後、約款第18条に規定する条件変更が生じた場合におけるVE管理費については、原則変更しないものとする。ただし、発注者及び受注者の双方の責に帰することができない事由により工事の続行が不可能となった場合又は工事縮減額が著しく減少した場合においては、双方の協議により定めるものとする。

(提案内容の保護)

第8条 VE提案については、その後の工事において、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、無償で使用できるものとする。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案については、この限りではない。

(責任の所在)

第9条 VE提案が採用され、設計図書の変更が行われた場合においても、約款に基づく受注者の責任が軽減されるものではない。

(提案書類の作成費用)

第10条 VE提案及びこれに附属する説明図表、技術的検討書等の作成に要した一切の費用は、受注者が負担するものとする。

(その他)

第11条 この要領の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要領は、令和4年1月4日から施行する。

# V E 提 案 書

企業局長 殿

(受注者) 印

企業局契約後 V E 方式実施要領第 4 条第 1 項の規定に基づき、V E 提案書を提出いたします。

工事件名 :  契約締結日 :	連絡者 氏 名 T E L F A X	
V E 提案の概要		
注) 記入欄が不足する場合には、別記様式第 1 号の 2 と して追記してください。なお、概算低減額は、提案 を審査する上で参考とするものです。		
番 号	項 目 内 容	概算低減額：千円
概 算 低 減 額 合 計		

番号	項目内容
----	------

(1) 設計図書の定める内容と、VE提案の内容の対比

【現状】 ----- 略図等

【改善案】 ----- 略図等

(2) 提案理由

(3) VE提案の実施方法（材料仕様、施工要領等を記入）

(4) 品質保証の証明（品質保証書の添付等）

(5) その他



別記様式第4号

番 号		項目内容	
-----	--	------	--

(1) 工業所有権等の排他的権利を含むV E 提案である場合、その取扱いに関する事項

(2) V E 提案が採用された場合に留意すべき事項（提案内容の公表に係る所見等）

(注) 必要な場合は、別途説明資料（説明図表、技術的検討書等）を添付すること。

### V E 提案採否通知書

殿

発注機関の長 印

年 月 日付けで提出されました V E 提案に対する審査結果を以下のとおり通知します。

工 事 名 :		V E 提案項目数 :		
契約年月日 : 年 月 日		採用項目数 :		
		不採用項目数 :		
V E 提案に対する「採否」及びその理由				
V E 提案番号	V E 提案項目	採否区分	採 否 の 理 由	特 記 事 項
		採・否		

(注) 採否に関する問い合わせ先

〇〇〇〇事務所 〇〇課 〇〇担当

電話番号〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇